

安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名 各地でこんな取り組みが ⑩

2020年5月18日

安倍9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 ☎03-3221-4668

検察庁法改正案に抗議します

○検察庁法「改正」案の採決強行許さず、撤回させ、廃案に追い込みましょう。

○検察庁法「改正」案の衆議院内閣委員会で審議は、法務委員会との連合審査や検察庁法「改正」案の国家公務員法改正に紛れ込ませず切り離せなどの野党の要求を退けつつも、森法務大臣の出席による審議が先週までに行われました。松本委員長の強引な委員会運営にもかかわらず、与党が目論んだ先週中の衆議院通過はできず、今週に持ち越しています。

○Twitter デモ（「#検察庁改正案に抗議します」、「#週明けの強行採決に反対します」など）、総がかり行動実行委員会・安倍9条改憲NO！全国市民アクションが呼びかけるネット署名34万9500（5月18日11時00分現在）、同じくファックス・手紙などの賛同署名は1000人超、世論調査では多数が「反対」を表明（18日付「朝日」は「反対」64%、「安倍首相の説明は信用できない」68%、「成立を急ぐべきではない」80%、内閣支持率は8割のダウンで33%、不支持率は6割のアップで47%と報道、ANN調査は「反対」68%、内閣支持率は7割のダウンで32.8%、不支持率は9.9割のアップで48.5%と18日配信）、元検事総長らによる元検事の連名声明（15日）、日弁連の異例の2度目の反対声明、全国52単位弁護士会中46の声明、コロナ禍下で繰り上げられる全国各地での市民のスタンディングなどの工夫した行動、国会前での連日の市民有志によるサイレントデモ、松本文明衆議院内閣委員長（自民）ら内閣委員への緊急ファックス要請（総がかり・全国市民アクション呼びかけ）など、世論と運動は急速に進展しています。

○今週が山場！与党側は20日にも衆議院内閣委員会で採決、21日本会議通過をねらっています。

可能な行動を取り組み、世論と運動を最大限に強め、検察庁法「改正」案の衆議院通過許さず、撤回・廃案に追い込みましょう。

※オンライン（ネット）署名は、全国市民アクションのホームページのトップページから入り、応募できます。ツイッターに投稿しましょう。「はがき」、「賛同署名」、「FAX要請の取り組み訴え」、「FAX要請の例文」、衆議院内閣委員一覧（議員室、選挙

区、FAX番号付)は同ホームページからダウンロードできます。

ツイッターデモへの参加方法のアドバイス (海渡雄一弁護士のコメントから) 一再掲

コロナ禍で、市民がデモや署名などの動きを取れない中で、市民の意見表明の数少ない手段が「ツイッターデモ」です。

賛同いただける友人のみなさんは、ぜひお誘いあわせの上、多くの方々の参加をお願いします。ひとりでも多くの参加者で、市民の声を政府と国会に示しましょう。このハッシュタグ「 #検察庁法改正案に抗議します 」を張り込んで、あとは自分の意見を述べるだけです。

ハッシュタグは #検察庁法改正案に抗議します と、前にスペースと# 後にスペースを入れる必要があります。

検察庁法改定案は撤回せよ！ コロナ対策は憲法を生かして！ 総がかり行動・全国市民アクションが行動 12日新宿西口

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会、安倍9条改憲NO！全国市民アクションは5月12日夕、新宿駅西口で30分間強のスタンディングによる月例の合同宣伝・署名行動を取り組みました。行動には30人が参加しました。

検察庁法改正案の審議が衆院内閣委員会で強行されている中、Twitterによるデモ「#検察庁法改正案に抗議します」が空前の広がりとなり、全国市民アクションが呼びかけるネット署名も30万人を超えるなど市民の怒りと反対の声の沸騰に呼応するスタンディングとなり、「#検察庁法改正案に抗議します」の大きな横断幕をかけた宣伝しました。

リレートークでは、同法案が検察官の人事に内閣が介入する仕組みとなり、三権分立と憲法の原則を破壊し、究極の私物化を招くものであること、コロナ対策の中で、理由も説明できないまま衆議院での強行通過を急ぐのは、火事場泥棒そのものであり、こんな異常・異様な状況は絶対に許されないと強調されました。

また、コロナ対策では、行き当たりばったりの対応ではなく、市民と市民の要求に寄り添った抜本的な対応、今こそ憲法を生かし、市民の命と暮らしを守ることが政治の責任であることが述べられました。訴えたのは憲法共同センターの長尾ゆりさん、1000人委員会の藤本泰成さん、9条壊すな！実行委員会の高田健さん、キリスト者平和ネットの渡辺多嘉子さんら。司会は菱山南帆子総がかり行動実行委員会運営委員でした。

署名テーブル1脚と署名板を持った2人には署名する人が引きも切らず、対話となり、寄せられた改憲発議反対緊急署名は26でした。



5月12日新宿駅西口 (写真=憲法共同センター・高島牧子さん)

東京／「司法まで私物化するのか」小平市の総がかり、九条の会など

東京・小平市の総がかり行動実行委員会、市民連合、九条の会で活動するメンバー20人が5月15日、西武新宿線花小金井駅北口で検察庁法改定案撤回を呼

びかけました。

同法案が衆議院内閣委員会で強行採決されるのではないかと報道される中、急ぎょ計画されたもので、「#検察庁法改正案に抗議します」の横断幕などをかかげてリレートークが行われました。

東 京／検察庁法改定案審議入り強行に抗議 御茶ノ水駅で共同センター

憲法共同センターは5月11日昼、定例の「9日行動」を東京・御茶ノ水駅前で行いました。短時間の行動でしたが、全労連の小田川義和全労連議長、長尾ゆり副議長、憲法会議の高橋信一事務局長らが、8日衆議院内閣委員会で審議入りが強行された検察庁法改定案の内容とともにやり方についても批判しました。また、安倍政権がコロナ禍に乗じて緊急事態条項を憲法に書き込もうと改憲の執念をなかり構わず示していることを糾弾、安倍改憲阻止を訴えました。

一人だけが訴えていた署名板に4人が署名、そのうちの一人は、「がんの闘病中だが、こうした宣伝は気持ちを癒し、勇気を与えてくれる。ありがとう」と述べました。

東 京／ハンドマイクで「検察庁クーデター」を告発 本郷・湯島九条の会

東京・文京区で活動する**本郷・湯島九条の会**は5月12日、本郷三丁目のかねやす前で昼宣伝を行いました。

(以下は本郷・湯島九条の会 石井彰さん発信のメールから)

薄曇りの夏日になったかねやす前の昼宣伝になりました。男女合わせて7人の方々が結集しました。これまでのように署名・チラシ配布は控え、かつソーシャルディスタンスをとるという気の配りようなのです。マイクの声は本郷通り、春日通りに響きわたりました。様々なプラスターを一人2枚持ち、かねやす前に立ち、道行く人びとに、検察庁法の改定案は、安倍首相が検察庁までも私物化し、法の支配から「人の支配」に変えるという「クーデター」の強行…などと訴えました。

道行く人びともそれとなく聴いているようでした。これからが正念場です。次回は6月9日昼です。

大 阪／スタンディングで「#検察庁法改正案に抗議します」 羽曳野市

大阪・羽曳野市の**羽曳野総がかり行動実行委員会**は5月13日夕、市内の古市駅前スタンディング宣伝を行いました。

参加した14人は、「#検察庁法改正案に抗議します」「コロナに乗じた憲法改悪は許せない 憲法を生かしたコロナ対策の政治を」「不要不急の法案は自粛」「国民は手を洗う、安倍首相は足を洗え」などのプラカードを掲げ訴えました。

大 阪／横断幕・プラカードで「法案反対」訴え 寝屋川市

大阪・寝屋川市の**寝屋川革新懇**は5月13日、京阪寝屋川市駅前「#検察庁法改正案に抗議します」のスタンディングを行いました。行動には40人が参加、プラスターや横断幕を掲げて訴えました。

「#検察庁法改正案に抗議します」の横断幕を見て、「署名はないのですか。がんばって」と声をかける通行人もいました。

大阪では、堺市や豊中市で緊急の宣伝行動が予定され、市民運動団体は19日18時から京橋でスタンディングを計画しています。

(大阪憲法しんぶん速報版「平和 憲法九条」5月14日付548号から)

徳島／検察庁法改定案は火事場泥棒！ 女性団体がレッドアクション

女性協議会や母親大会実行委員会など県内の女性団体などで構成する「戦争への道を許さない女たちの会」が5月16日、徳島市内の地方検察庁前の交差点で検察庁法改定案に反対する「怒りのレッドアクション」を取り組みました。

参加した30人は赤いスカーフなどを身に着けて「#検察庁法改正案に抗議します」、「コロナの陰で不要不急の火事場泥棒」などのプラカードや横断幕を掲げ、リレートークでアピールしました。

長崎／「検察庁法強行やめよ」と市民集会、野党代表も訴え 長崎市

言論の自由と知る権利を守る長崎市民の会、憲法改悪阻止長崎県共同センター、戦争への道を許さないながさき1001人委員会は5月14日、市内鉄橋（てつばし）で長崎市民集会を開催し、「検察庁法強行やめよ」とアピールしました。

集会では3団体の代表とともに、国民民主党、立憲民主党、日本共産党の代表が訴えました。

19日に衆院通過強行許さない緊急国会行動を呼びかけ

憲法9条壊すな！実行委員会

憲法9条壊すな！実行委員会は、検察庁法改定案の衆議院内閣委員会での強行採決、衆議院通過を許さず、廃案へと、緊急に5月19日（火）18時から、衆議院第2議員会館前で国会行動を取り組むことにし、参加を呼びかけています。ソーシャルディスタンスの確保や短時間の設定で、参加可能な条件の人たちと呼びかけています。

総がかり行動実行委員会は、新型コロナウイルス感染防止を考慮して5月19日の国会行動をとりやめています。

各地の安倍9条改憲NO!の活動から

北海道／コロナ便乗の改憲許すな 札幌市西区民の会

札幌市西区の戦争させない西区民の会はこのほど、地下鉄琴似駅前前で通算165回目となる宣伝を行いました。

「守ろう憲法9条」、「子どもたちに平和な日本を引き継ごう なくせ原発・核兵器」などの手作りの横断幕を掲げました。

訴えに答え、「『自粛しなさい』ばかりでなく、補償を。どさくさにまぎれて憲法を変えるなんて火事場泥棒みたいだ」という男性もいました。

北海道／改憲や軍拡でなく、コロナ対策が今大切 札幌市中央区

札幌市中央区革新懇とSTOP安倍政治！中央区実行委員会は5月8日、「9の日行動」を行いました。

ビラの配布とマイクからの訴えに、通りがかった男性から「がんばれ」の激励があり、改憲発議反対署名をする人が相次ぎました。

東京／「コロナに便乗して憲法を変えるな！」 オール大塚

大塚駅周辺の労働組合・団体が参加して、憲法東京共同センターとともに定例宣伝行動を取り組んでいるオール大塚は5月8日、大塚駅南口で8団体の14人

が参加しスタンディングを行いました。

音出し、チラシ配布なしの宣伝だけに、掲げた「新型コロナ感染防止のために自粛と補償はセットで」などのプラカードや横断幕への注目が集まりました。

改憲発議反対全国緊急署名は3人から寄せられました。

兵庫／発議反対緊急署名現在 9563 尼崎医療生協社保平和委員会

東京高検黒川検事長の定年延長に関する閣議決定撤回と黒川氏の辞職を求める賛同署名を支持します。

尼崎医療生活協同組合・社保平和委員会では、安倍9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名を2万の目標で取り組んでおり、現在9563となっています。

安倍政権の権力私物化、民主主義の破壊、平和憲法の破壊を許さず、尼崎共同行動に結集してこれからも運動を進めていきます。共に頑張りましょう！

尼崎医療生活協同組合 所平和委員会・委員長 理事・西本美智子
(5月13日付の黒川定年延長抗議賛同署名送信メールから)

福井／憲法生かし抜本的なコロナ対策を 県憲法共同センター

憲法改悪に反対し、九条を守る福井県憲法共同センターは5月9日、JR福井駅西口で「9の日行動」を取り組みました。

「憲法を生かし、抜本的なコロナ対策を」「コロナ危機に乗じた改憲議論とんでもない」「安倍首相がいう緊急事態条項の改憲は政権にフリーハンドの権限を与えるもの。コロナ対策の緊急事態宣言とは別物」などと訴えました。

フラワーデモも各地で

埼玉・さいたま市JR浦和駅東口、茨城・水戸市JR水戸駅南口、三重・伊勢市伊勢神宮外宮付近など、各地で「性暴力許さない」、「性被害泣き寝入りしないでいい」などと、フラワーデモが5月11日に取られました。

コロナ緊急事態宣言を入り口にした改憲許さない

2020年憲法集会

全国各地で多様な憲法記念日の行動 (2)

宮城／「アベ政治を許さない」スタンディング 仙台市宮城野区、名取市

仙台市宮城野区の有志は5月3日、同区原町三丁目坂下交差点で7人が参加し、「アベ政治を許さない」「コロナ対策にもっと予算を」「憲法九条を変えるな」のプラスターを掲げ、スタンディングアピールを行いました。通りかかる自動車のドライバーから激励がありました。

名取九条の会は5月3日、8人の参加で「アベ政治を許さない」スタンディング宣伝を行いました。コロナ感染拡大を利用した緊急事態条項を憲法に創設しようという火事場泥棒改憲を許さない、と訴えました。

東京／区内3カ所で連鎖行動 深刻な生活相談も ねりま9条の会

練馬区で活動するねりま9条の会は5月3日、西武池袋線の3つの駅頭で連鎖的に宣伝行動を取り組みました。

練馬駅前の10時からの行動には、光が丘9条の会、桜台9条の会、大泉9条の会、北町9条の会などから10人が参加して横断幕やボードを掲げ宣伝しました。

11時からの同富士見台駅頭では3つの地域9条の会などの6人が参加、14時からの大泉学園駅頭では5つの9条の会から16人が参加しました。

この日の行動のなかで、DV被害を受けているという人からの相談、コロナ禍で営業が大変で、休業補償を申請したがうまくいかないとの相談などを受けました。宣伝行動で相談を受けるのは初めてです。

コロナに関連する被害補償の問題で、休業補償について諸外国と日本の実態を比較した手作りのボードには通りかかった青年らも注目していました。

(東京地評改憲阻止闘争本部 FAX・MAIL ニュース5月12日付101号から)

滋賀／「9条守ろう」「コロナの実の改憲許さない」とアピール 大津市

大津市で5月3日、山中比叡平九条の会のメンバーら市民17人が、国道端でスタンディングを取り組みました。

行動では「憲法9条を守ろう」、「コロナを理由にした改憲を許さない」、「アベ政治を許さない」などのプラカードを掲げました。自動車から手を振るなどの声援もありました。

和歌山／2ラウンドで町内全域で宣伝 みなべ町

和歌山県日高郡みなべ町で活動するみなべ九条の会は5月3日、午前と午後の2ラウンドで宣伝カーを繰り出し、町内全域で街頭宣伝を行いました。

今日が73回目の憲法記念日であり、憲法9条は戦争の犠牲となった人たちの遺言であること、安倍首相がこの憲法を変え、日本を戦争する国にしようとしていることなどの訴えに、道行く人たちや野良仕事の人たちが注目していました。

(九条の会ニュース5月11日付373号から)

愛媛／「武器よりコロナ対策を」共同センターが街頭で訴え 松山市

憲法改悪阻止愛媛連絡センターは5月3日、松山市で憲法記念日のスタンディングを取り組みました。毎年憲法記念日に行っている「5・3憲法集会」をコロナウイルス感染防止の観点で中止したことに伴うもので、短時間、少人数で行動しました。

行動では、プラカードや横断幕をかかげ、改憲勢力がコロナ危機を改憲策動に利用しようとしていることを批判、「自粛・休業要請と補償は一体」は、憲法にもとづくものであることを訴え、コロナ収束へ力を合わせ、憲法の理念を生かす政治への転換を呼びかけました。